

岩手地方最低賃金審議会第4回専門部会議事要旨

岩手労働局

令和8年8月24日 13:28～15:40

○ 主な審議事項 公開・ 非公開 1 金額審議 2 その他	出席状況	公益	3 / 3
		労側	3 / 3
		使側	3 / 3
○ 審議要旨 1 金額審議 金額審議に入る前に事務局から、各局の審議結果について報告した。 労働者代表委員及び使用者代表委員から、5回目及び6回目の金額の提示がなされた。 労働者代表委員からは、岩手の物価上昇率は全国平均より高いことから、労働者の生計費を重視すべきである。春闘の結果 99 人以下の中小企業・小規模事業者も、厳しい中でも昨年を上回る賃上げを行っており、通常の事業の賃金支払能力としてはまだあるものとする、などの主張があった。 使用者代表委員からは、物価高や金利上昇などが収益を圧迫する中、賃上げや社会保険料の負担増もあって、納税資金を確保できず倒産に至る中小企業・小規模事業者が増えおり、支払能力というよりも支払えなくなっているのが実態である、などの主張があった。 労使の主張に対する審議が進められたが、労使の提示額の差が大きいため、部会長の判断により審議は次回専門部会への持ち越しとなった。 2 その他 なし。			